

Vol.1

小・中学生対象の木村塾、高校生対象の東進衛星予備校衛星、個別指導Hatvestを運営する木村塾グループ。学力アップに留まらない、人として成長できる場であるという指導が高い評価を受け、現在では京阪神を中心に35校舎・生徒数9000人超を誇り、生徒や保護者から厚い信頼を得ています。

今日は、木村塾阪神甲子園校校舎長の廣田氏にこのエリアの特徴を伺いました。



木村塾 阪神甲子園校 校舎長

廣田 基氏

Q 甲子園はどのようなエリアでしょうか。

A 甲子園校の保護者の方の印象でもあります。ご主人は大手の企業にお勤めだったり、お医者さんや大学勤務など堅実な方が多いのですが、一方で半分くらいは共働き世帯です。子どもたちも塾はもちろん、サッカーやテニス、水泳、ピアノなど、習い事も熱心に頑張っていて、そういう意味でも経済的にゆとりのある方が多いようです。

校区の学文中学校は、穏やかでいい子が多い印象です。勉強もしっかり取り組んでいて進学率も高いですね。駅の北側は、街の雰囲気も落ち着いています。同様に、鳴尾北小学校も、悪い評判は聞いたことがありません。教育環境の整ったエリアだと思います。



Q 阪神間で多くの校舎をお持ちですが、こちらの阪神甲子園校はどのような雰囲気でしょうか。

A 穏やかな保護者の方が多いように感じます。教育熱心なあまり「〇〇高校へ行きなさい!」と、親の方針を押し付けるわけではなく、かといって何でも子どもの希望通りにするのもない、頑張る子をしっかりとサポートする二人三脚タイプの保護者の方をお見受けします。子どもたちも明るく、楽しそうで、子どもらしい印象です。変に大人びたり、斜に構えている子は少なく、素直ですね。



Q 木村塾の特長は何ですか。

A 木村塾は、中間下位層の子どもたちを伸ばすことが得意と言えます。それは、心の根っこが変われば、成績も変わるという成功例を数多経験しているからです。当校では、挨拶や感謝の心、ポジティブな考え方、利他の心などを、繰り返し子どもたちに教えています。心の持ち方で、自己肯定感が上がり、勉強との向き合い方も変わります。学習塾である以上、学力アップや志望校合格が目標なのは当たり前ですが、当校では「人としての成長を助けることが大切」と考えており、その方針が保護者の方に支持されています。



PROFILE

木村塾 阪神甲子園校 校舎長

廣田 基氏

2014年、大手学習塾より木村塾に転職し、入社3年目には英語の教務部長に就任。2018年新設された緑地公園校の校舎長を務めた後、2021年より現職。二児のお子さんの良きパパでもあります。